

関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りした。平年より1日早く、昨年より2日遅い梅雨入りだそうだ。まさに梅雨本番さながらに6月10日は朝から絶え間なく降る激しい雨と肌寒さを感じる日でした。本日は「埼玉江南病院」に隣接した「ケアパーク江南」にボランティア訪問をしました。

当所には今回で4度目の公演です。ウェブサイトによれば「ケアパーク江南」は老人特有のさまざまな障害に対応した設備を完備しているほか、明るく快適な居住空間、入居者や来訪者との交流・くつろぎの場となる広々とした多目的ホール、心身ともにリフレッシュする浴室、安心の診察室など

快適な介護サービスを提供できるよう最新の気配りと工夫をしてある施設です。

午後1時半に現地集合。今日は久しぶりに熊谷座6人が全員参加となった。すぐに控え室にて衣装に着替え、このところ座員一同着替えにも慣れたのかあつという間に『大道芸人』に早変わりだ。公演開始の2時を待つ。持ち時間は1時間、皆で公演内容の確認を行い準備完了です。



多目的ホールには既に90人を超えた入居者とスタッフの人でいっぱいです。一段高いステージで公演開始となった。観客の期待に輝く目が印象的だ。

簡単な挨拶のあとに「南京玉すだれ」の基本を演じる。雨のせいか湿気で玉すだれの滑りが若干悪い。最後の「しだれ柳」にキラキラモールと大型扇子の振付に皆さん大喜びの基本フィナーレとなった。

自己紹介は『皿回し』を各自披露しながら短い挨拶。

第2演目は「ああ人生に涙あり」テレビドラマ「水戸黄門」の主題歌に振付をしたものだ。久しぶりでわずかにチームワークがよくなかったか？

第3演目は「きよしのズンドコ節」。これは慣れたものでバッチリと決められた。





第4演目は「麦畑」。KサンとGサン、IサンとNサンのペアによる演技です。お互いに呼吸のあった駆け引きと演技で、最後の「ハートマーク」に大きな拍手をいただいた。ここで「南京玉すだれ」は終了。

第5演目は「マジック」。

久しぶりのIサンのマジックに会場の皆さんは大喜び。

棒に3本の糸でぶらさがったコインを振り子のように動かすマジックは会場からの参加者で大盛り上がり、Iサンも驚く手腕を発揮し、会場から大拍手の一幕もあった。



2番手はKサンがリング貫通の新ネタを含め披露した。新聞紙に水を入れるマジックには会場から驚きの声が出た。透明の水が赤色に変わって新聞紙から出てきた。



第6演目はNサンとNサンによるオカリナ演奏。『学生時代』、中田喜直メドレー『早春賦』『夏の思い出』『小さい秋見つけた』『雪のふる街を』の5曲を演奏。会場の皆さんの歌の合唱も入り、ますます、その音色と二人のハーモニーに大きな拍手を貰いました。



最後は「触れ合いタイム」。会場の皆さんに「南京玉すだれ」に触れて貰うというコーナーで、皆さん一人一人に「玉すだれ」で形を作り記念写真を撮っていただいた。



最後の挨拶では「またの訪問を楽しみにしている」とのメッセージでお別れとなった。楽しいあつという間の1時間をありがとうございました。

記： 高木民男

写真： 中山陽子